

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-変 2-工-F-01-0006 改 0
提出年月日	2023 年 4 月 28 日

設計及び工事計画変更認可申請書

参考資料

2023 年 4 月

東北電力株式会社

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前

変更後

備考

2.9 原子炉冷却材浄化設備
2.9.1 原子炉冷却材浄化系
(5) 主配管

変更前				変更後										
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料	名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料	
*	原子炉圧力容器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管合流点	8.62 ^{a1}	302	60.5	8.7	STS10 ^{a3}	変更なし							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}								
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}								
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}								
**	G31-P001 ～ 原子炉格納容器配管直通部 (U-50)	8.62 ^{a1}	302	60.5	8.7	SFV2B	変更なし							
				87.1	22.0	SFV2B								
原子炉冷却材浄化系	原子炉格納容器配管直通部 (U-50) ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器	8.83 ^{a1}	302	216.3	18.2	STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42	変更なし	原子炉冷却材浄化系						
				216.3	18.2	STS42								
				216.3	18.2	STS42								
				216.3	18.2	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系ポンプ ～ 原子炉冷却材浄化系ポンプ	10.20 ^{a1}	66	139.8	12.7	STS42 STS42	変更なし							
				216.3	18.2	STS42 STS42								

OR I RO

28
特許の内容は商標権の範囲から保護される。

2.9 原子炉冷却材浄化設備
2.9.1 原子炉冷却材浄化系
(5) 主配管

変更前				変更後										
名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料	名	称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{a1} (mm)	厚さ ^{a2} (mm)	材料	
**	原子炉圧力容器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管合流点	8.62 ^{a1}	302	60.5	8.7	STS10 ^{a3}	変更なし							
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}								
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}								
				60.5	8.7	STS10 ^{a3}								
**	G31-P001 ～ 原子炉格納容器配管直通部 (U-50)	8.62 ^{a1}	302	60.5	8.7	SFV2B	変更なし							
				87.1	22.0	SFV2B								
原子炉冷却材浄化系	原子炉格納容器配管直通部 (U-50) ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器 ～ 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器	8.83 ^{a1}	302	216.3	18.2	STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42 STS42	変更なし	原子炉冷却材浄化系						
				216.3	18.2	STS42								
				216.3	18.2	STS42								
				216.3	18.2	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
				139.8	12.7	STS42								
原子炉冷却材浄化系	原子炉冷却材浄化系ポンプ ～ 原子炉冷却材浄化系ポンプ	10.20 ^{a1}	66	139.8	12.7	STS42 STS42	変更なし							
				216.3	18.2	STS42 STS42								

OR I RO

28
特許の内容は商標権の範囲から保護される。

変更なし

変更前

変更前				変更後							
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	厚 さ ^{※2} (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	厚 さ ^{※2} (mm)	材 料
原子炉冷却材 浄化系	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{※1}	302	216.3 / 165.2	STS12 /	変更なし					
	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(側面)入口配管			165.2	STS10 ^{※3}						
原子炉冷却材 浄化系	原子炉冷却材浄化系系注入口配管合流点	8.62 ^{※1}	302	165.2	SVW2B	変更なし	原子炉冷却材浄化系系注入口配管合流点				
				165.2	STS12						
				165.2	STS12						
				165.2	STS12						
				114.3	STS10 ^{※3}						
165.2	STS10 ^{※3}										
165.2	STS10 ^{※3}										

注記※1：外観は公称値を示す。
 ※2：() 内は公称値を示す。
 ※3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管まで」と記載。
 ※4：S11単位に換算したものである。
 ※5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「エルボを含む管仕組を記載しているため、記載の適正化を行う。」
 ※6：エルボを示す。既工事計画書には記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成30年6月19日付け23頁1003号にて認可された工事計画の添付書類「W-2-1-2-1-1 管の基本厚計算書」による。
 ※7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は「原子炉冷却材浄化系再生熱交換器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器まで(原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管)」と記載。
 ※8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系再生熱交換器及び原子炉冷却材浄化系再生熱交換器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器まで(原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管)」と記載。
 ※9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系再生熱交換器及び原子炉冷却材浄化系再生熱交換器のうち正力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)」と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規制による工事計画の記載)。
 ※10：非常用炉心冷却設備その他の原子炉注水設備(高圧代替注水系)及び原子炉格納容器の他の安全設備のうち正力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規制による工事計画の記載)。
 ※11：非常用炉心冷却設備その他の原子炉注水設備(原子炉冷却材浄化系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規制による工事計画の記載)。
 ※12：電気系統部の規定に基づき、本工事計画認可申請書において記載を実施するもの。

30
[図面の内容は記載設備の構造から公認できません。]

変更後

変更前				変更後							
名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	厚 さ ^{※2} (mm)	材 料	名	称	最高使用 圧 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	厚 さ ^{※2} (mm)	材 料
原子炉冷却材 浄化系	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(側面)出口配管分岐点	8.62 ^{※1}	302	215.3 / 165.2	STS12 /	変更なし					
	原子炉冷却材浄化系再生熱交換器(側面)入口配管			165.2	STS10 ^{※3}						
原子炉冷却材 浄化系	原子炉冷却材浄化系系注入口配管合流点	8.62 ^{※1}	302	165.2	SVW2B	変更なし	原子炉冷却材浄化系系注入口配管合流点				
				165.2	STS10 ^{※3}						
				165.2	STS10 ^{※3}						
				165.2	STS12						
				114.3	STS10 ^{※3}						
165.2	STS10 ^{※3}										

注記※1：外観は公称値を示す。
 ※2：() 内は公称値を示す。
 ※3：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管まで」と記載。
 ※4：S11単位に換算したものである。
 ※5：記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS12」と記載。
 ※6：エルボを示す。既工事計画書には「エルボを含む管仕組を記載しているため、記載の適正化を行う。」
 ※7：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成30年6月19日付け23頁1003号にて認可された工事計画の添付書類「W-2-1-2-1-1 管の基本厚計算書」による。
 ※8：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系再生熱交換器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器まで(原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管)」と記載。
 ※9：記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系再生熱交換器及び原子炉冷却材浄化系再生熱交換器のうち正力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)」と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規制による工事計画の記載)。
 ※10：非常用炉心冷却設備その他の原子炉注水設備(高圧代替注水系)及び原子炉格納容器の他の安全設備のうち正力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規制による工事計画の記載)。
 ※11：非常用炉心冷却設備その他の原子炉注水設備(原子炉冷却材浄化系)と兼用。(核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規制による工事計画の記載)。
 ※12：電気系統部の規定に基づき、本工事計画認可申請書において記載を実施するもの。

30
[図面の内容は記載設備の構造から公認できません。]

曲げ管からエルボ材に変更することが要
目表に適切に記載されていなかったこと
の反映

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前	変更後	備考																																																																
	<div style="text-align: center;"> <p>5. 放射線管理設備 5.2 換気設備 (3) 非常用ガス処理系 又、主要弁 (管設)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前^{#1}</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>T46-F001A,B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>止め弁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>23.5~13.7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼び径</td> <td>200A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁箱厚さ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁ふた厚さ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁箱材料</td> <td>STPB2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>弁ふた材料</td> <td>SS3C^{#3}</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>駆動方法</td> <td>空気自動</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>系統名 (クライシス名)</td> <td>T46-F001A 非常用ガス処理系A系</td> <td>T46-F001B 非常用ガス処理系B系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置床</td> <td>原子炉建屋 0.F.233.20m</td> <td>原子炉建屋 0.F.233.20m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置区画番号</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>浸水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">注：※1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 ※2：核燃料物質、核燃料物質及び原子力の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。 ※3：電気事業法の規定に基づき、本工事計画変更認可申請書において自認を記載するもの。</p> </div>	変更前 ^{#1}		変更後		名称	T46-F001A,B			種別	止め弁			最高使用圧力	23.5~13.7			最高使用温度	100			呼び径	200A			弁箱厚さ				弁ふた厚さ				弁箱材料	STPB2			弁ふた材料	SS3C ^{#3}			駆動方法	空気自動			個数	2			系統名 (クライシス名)	T46-F001A 非常用ガス処理系A系	T46-F001B 非常用ガス処理系B系		設置床	原子炉建屋 0.F.233.20m	原子炉建屋 0.F.233.20m		設置区画番号				浸水防護上の配慮が必要な高さ				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>特開中の内容は最終版での記載となります。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">34</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>新規追加 (弁箱厚さを腐食代を考慮した寸法 (設計確認値) へ記載を変更, 弁ふた厚さ及び弁ふた材料を記載)</p> </div>
変更前 ^{#1}		変更後																																																																
名称	T46-F001A,B																																																																	
種別	止め弁																																																																	
最高使用圧力	23.5~13.7																																																																	
最高使用温度	100																																																																	
呼び径	200A																																																																	
弁箱厚さ																																																																		
弁ふた厚さ																																																																		
弁箱材料	STPB2																																																																	
弁ふた材料	SS3C ^{#3}																																																																	
駆動方法	空気自動																																																																	
個数	2																																																																	
系統名 (クライシス名)	T46-F001A 非常用ガス処理系A系	T46-F001B 非常用ガス処理系B系																																																																
設置床	原子炉建屋 0.F.233.20m	原子炉建屋 0.F.233.20m																																																																
設置区画番号																																																																		
浸水防護上の配慮が必要な高さ																																																																		

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変 更 前		変 更 後		備 考
名	変更前** T16-F003A,B	名	変更後 変更なし	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 特開中の内容は審査結果の欄から公開できません。 </div> <p style="text-align: center;">35</p>
種	—	種	—	
類	—	類	—	
最高使用圧力	Mpa 23.5	最高使用圧力	Mpa 23.5	
最高使用温度	℃ 140	最高使用温度	℃ 140	
呼び径	mm 2003	呼び径	mm 2003	
弁箱厚さ	mm []**	弁箱厚さ	mm []**	
弁ふた厚さ	mm []**	弁ふた厚さ	mm []**	
材料	—	材料	—	
取付	—	取付	—	
駆動方法	—	駆動方法	—	
駆動	電気自動	駆動	電気自動	
個数	2	個数	2	
系統名 (フラッシュ名)	T16-F003A 非常用ガス処理系A系	系統名 (フラッシュ名)	T16-F003B 非常用ガス処理系B系	
設置床	原子炉建屋 0.P.22.50m	設置床	原子炉建屋 0.P.22.50m	
浸水防護上の配慮 区画番号	—	浸水防護上の配慮 区画番号	—	
必要高さ	—	必要高さ	R-2F-1-1 床+0.13m以上	
			R-2F-1-1 床+0.13m以上	

注記*1：既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。
*2：核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。
*3：電気事業法の規定に基づき、本工事計画変更認可申請書において手続きを記載するもの。

新規追加（弁箱厚さを腐食代を考慮した寸法（設計確認値）へ記載を変更、弁ふた厚さ及び弁ふた材料を記載）

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前			変更後													
名	称	材	厚さ ^{*2} (mm)	外径 ^{*3} (mm)	最高使用温度 ^{*4} (°C)	最高使用圧力 ^{*5} (kPa)	名称	厚さ ^{*2} (mm)	外径 ^{*3} (mm)	最高使用温度 ^{*4} (°C)	最高使用圧力 ^{*5} (kPa)	名称	厚さ ^{*2} (mm)	外径 ^{*3} (mm)	材料	
*3 T18-F001 ～ T18-F002出口側合流点	*5	SH11C	609.6	609.6	171	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	200 **	427	609.6	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	SH11C
			457.2	457.2				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
*3 T18-F002出口側合流点	*5	S25C	61.1 *7	61.1 *7	171	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	61.1 *7	61.1 *7	200 **	427	609.6	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	61.1 *7	609.6	SH11C
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
*12 原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	*5	SH11C	609.6	609.6	104	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	200 **	427	104	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	SH11C
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
*12 原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	*5	SH11C	609.6	609.6	104	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	200 **	427	104	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	SH11C
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								

内容中の内容は諸君の責任から公認できません。

変更前			変更後													
名	称	材	厚さ ^{*2} (mm)	外径 ^{*3} (mm)	最高使用温度 ^{*4} (°C)	最高使用圧力 ^{*5} (kPa)	名称	厚さ ^{*2} (mm)	外径 ^{*3} (mm)	最高使用温度 ^{*4} (°C)	最高使用圧力 ^{*5} (kPa)	名称	厚さ ^{*2} (mm)	外径 ^{*3} (mm)	材料	
*3 T18-F001 ～ T18-F002出口側合流点	*5	SH11C	609.6	609.6	171	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	200 **	427	609.6	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	SH11C
			457.2	457.2				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
*3 T18-F002出口側合流点	*5	S25C	61.1 *7	61.1 *7	171	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	61.1 *7	61.1 *7	200 **	427	609.6	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	61.1 *7	609.6	SH11C
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
*12 原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	*5	SH11C	609.6	609.6	104	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	200 **	427	104	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	SH11C
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
*12 原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	*5	SH11C	609.6	609.6	104	427 *4	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	200 **	427	104	原子炉建屋内 ～ サブレーションチェンバ入口 配管合流点	609.6	609.6	SH11C
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								
			609.6	609.6				SH11C								

内容中の内容は諸君の責任から公認できません。

変更なし

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表

【I 工事計画】

変更前

変更前				変更後									
名	称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	名	称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材
T18-F016 ～ ドライウエル入口配管合流点	*13	427 *4	171	457.2	45 (9.5)	SM100C	変更なし	変更なし	427 *4	171	457.2	45 (9.5)	SM100C
				457.2	45 (9.5)						457.2	45 (9.5)	
T18-F010 ～ T18-F011入口側合流点	*15	427 *4	171	61.1 ^{*7}	6.1 ^{*7}	S25C	変更なし	変更なし	427 *4	171	61.1	6.1	STS110
				61.1 ^{*7}	6.1 ^{*7}						61.1	6.1	
原子印格納容器配管直通部 ～ T18-F002出口側合流点	*16	427 *4	171	60.5	5.5	STS12	変更なし	変更なし	427 *4	171	60.5	5.5	STS110
				61.1	6.1						60.5	5.5	
ドライウエル補給用家蒸配管分岐点	*18	427 *4	171	60.5	5.5	STS12	変更なし	変更なし	427 *4	171	60.5	5.5	STS110
				61.1	6.1						60.5	5.5	
原子印建屋内吸入配管合流点	*17	427 *4	104	61.1	6.1	S25C	変更なし	変更なし	427 *4	104	61.1	6.1	STS110
				60.6	6.1						60.6	6.1	
原子印格納容器配管直通部 (X-81) ～ ドライウエル出口配管分岐点	*17	427 *4	171	609.6	9.5	SM100C	変更なし	変更なし	427 *4	171	609.6	9.5	STS110
				609.5	9.5						609.5	9.5	
ドライウエル出口配管分岐点	*18	427 *4	171	609.6	9.5	SM100C	変更なし	変更なし	427 *4	171	609.6	9.5	STS110
				609.5	9.5						609.5	9.5	

原子印格納容器配管直通部

ORI
図
1
R0

48

作図中の内容には図表詳細の欄から公開できません。

変更後

変更前				変更後									
名	称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	名	称	最高使用圧力 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材
T18-F016 ～ ドライウエル入口配管合流点	*13	427 *4	171	457.2	45 (9.5)	SM100C	変更なし	変更なし	427 *4	171	457.2	45 (9.5)	STS110
				457.2	45 (9.5)						457.2	45 (9.5)	
T18-F010 ～ T18-F011入口側合流点	*15	427 *4	171	61.1 ^{*7}	6.1 ^{*7}	S25C	変更なし	変更なし	427 *4	171	61.1	6.1	STS110
				61.1 ^{*7}	6.1 ^{*7}						61.1	6.1	
原子印格納容器配管直通部 ～ T18-F002出口側合流点	*16	427 *4	171	60.5	5.5	STS12	変更なし	変更なし	427 *4	171	60.5	5.5	STS110
				61.1 ^{*7}	6.1 ^{*7}						60.5	5.5	
ドライウエル補給用家蒸配管分岐点	*18	427 *4	171	61.1 ^{*7}	6.1 ^{*7}	S25C	変更なし	変更なし	427 *4	171	61.1	6.1	STS110
				61.1 ^{*7}	6.1 ^{*7}						61.1	6.1	
原子印建屋内吸入配管合流点	*17	427 *4	104	61.1	6.1	S25C	変更なし	変更なし	427 *4	104	61.1	6.1	STS110
				60.6	6.1						60.6	6.1	
原子印格納容器配管直通部 (X-81) ～ ドライウエル出口配管分岐点	*17	427 *4	171	609.6	9.5	SM100C	変更なし	変更なし	427 *4	171	609.6	9.5	STS110
				609.5	9.5						609.5	9.5	
ドライウエル出口配管分岐点	*18	427 *4	171	609.6	9.5	SM100C	変更なし	変更なし	427 *4	171	609.6	9.5	STS110
				609.5	9.5						609.5	9.5	

原子印格納容器配管直通部

ORI
図
1
R0

48

作図中の内容には図表詳細の欄から公開できません。

変更なし

備考

女川原子力発電所第2号機 工事計画の変更認可申請 変更前後比較表
【I 工事計画】

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P046	原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P046	427 ^{*1}	171	609.6	9.5	SH10C	変更なし
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P045	原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P045	427 ^{*1}	171	318.5	10.3	SH10C	変更なし
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		

内容中の内容は正確な記載から公認できません。
19

変更前				変更後			
名	称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 ^{*1} (mm)	厚さ ^{*2} (mm)	材	料
原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P046	原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P046	427 ^{*1}	171	609.6	9.5	SH10C	変更なし
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
					9.5		
原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P045	原子炉格納容器配管貫通部 ～ ドライウェル出口配管分岐点 T18-P045	427 ^{*1}	171	318.5	10.3	SH10C	変更なし
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		
					10.3		

内容中の内容は正確な記載から公認できません。
19

耐震性強化のため原子炉格納容器調気系の既設配管の一部を厚肉化することを反映
JIS規格継手の記載をJIS規格外の継手に変更

【 I 工事計画】

変 更 前	変 更 後	備 考
<p>注記※1：外信は公称値を示す。 ※2：()内は公称値を示す。 ※3：S1単位に換算したものである。 ※4：S1単位に換算したものである。 ※5：S1単位に換算したものである。 ※6：S1単位に換算したものである。 ※7：S1単位に換算したものである。 ※8：S1単位に換算したものである。 ※9：S1単位に換算したものである。 ※10：S1単位に換算したものである。 ※11：S1単位に換算したものである。 ※12：S1単位に換算したものである。 ※13：S1単位に換算したものである。 ※14：S1単位に換算したものである。 ※15：S1単位に換算したものである。 ※16：S1単位に換算したものである。 ※17：S1単位に換算したものである。 ※18：S1単位に換算したものである。 ※19：S1単位に換算したものである。 ※20：S1単位に換算したものである。 ※21：S1単位に換算したものである。 ※22：S1単位に換算したものである。 ※23：S1単位に換算したものである。 ※24：S1単位に換算したものである。 ※25：S1単位に換算したものである。 ※26：S1単位に換算したものである。 ※27：S1単位に換算したものである。</p>	<p>注記※1：外信は公称値を示す。 ※2：()内は公称値を示す。 ※3：S1単位に換算したものである。 ※4：S1単位に換算したものである。 ※5：S1単位に換算したものである。 ※6：S1単位に換算したものである。 ※7：S1単位に換算したものである。 ※8：S1単位に換算したものである。 ※9：S1単位に換算したものである。 ※10：S1単位に換算したものである。 ※11：S1単位に換算したものである。 ※12：S1単位に換算したものである。 ※13：S1単位に換算したものである。 ※14：S1単位に換算したものである。 ※15：S1単位に換算したものである。 ※16：S1単位に換算したものである。 ※17：S1単位に換算したものである。 ※18：S1単位に換算したものである。 ※19：S1単位に換算したものである。 ※20：S1単位に換算したものである。 ※21：S1単位に換算したものである。 ※22：S1単位に換算したものである。 ※23：S1単位に換算したものである。 ※24：S1単位に換算したものである。 ※25：S1単位に換算したものである。 ※26：S1単位に換算したものである。 ※27：S1単位に換算したものである。</p>	<p>81</p> <p>耐震性強化のため原子炉格納容器調気系の既設配管の一部を厚肉化することを反映</p> <p>JIS規格継手の記載をJIS規格外の継手に変更</p>